

特別展

装飾古墳の世界

装飾古墳を生み出した地域は、朝鮮半島との交流・交易を通じ常に外的な刺激を受けてきた北部九州でした。とくに福岡、熊本、佐賀の各県は装飾古墳が最も多く営まれた地域です。この展覧会では、地元の桂川町王塚古墳、宮田町竹原古墳、筑紫野市五郎山古墳はじめ、高松塚古墳など全国各地の装飾古墳の迫力ある実物大模型を多数展示します。またこれらの古墳から出土した貴重な遺物や、古墳絵画の源流である縄文、弥生時代の絵画資料も網羅的に展示します。この展覧会は国内五会場を巡回しますが、とくに福岡市博物館では広い展示スペースを活用し、全会場中最多の資料をビジュアルに展示し、装飾古墳のすべてを知る絶好の機会にします。

装飾古墳のふるさと北部九州、ここに花開いた華麗な古墳時代の芸術文化を、ぜひ多くの方にご覧いただきたいと思ひます。

10のテーマで構成する展示内容を簡単に紹介しましょう。

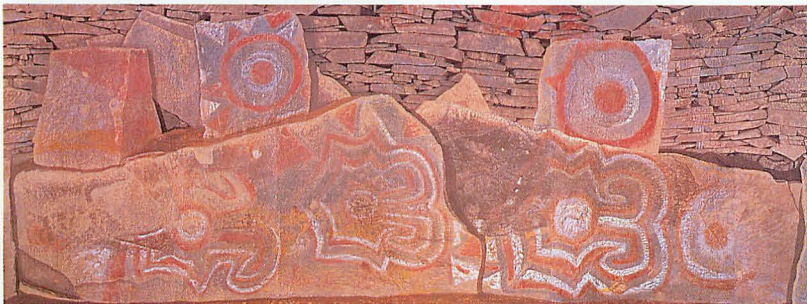
- (1) 装飾古墳の世界 装飾古墳の多くは保存のため封鎖され、内部を見学できないものがほとんどです。ここでは正確に再現された7つの実物大模型によって、装飾古墳の内部を見学できるようにします。とくに王塚古墳は製作当時の鮮やかな壁画に復元されており、得難い体験をすることができます。
- (2) 模写された装飾古墳 文化庁の依頼で日下八光画伯が製作した40点あまりの壁画模写を展示します。保存と不測の事態に備えるために忠実に描かれた壁画現状模写と、科学的な分析に基づいて製作された復元図によって、各地の装飾古墳の現状と古墳築造当時の姿を紹介しします。
- (3) 装飾古墳以前—縄文・弥生時代の壁画— 土器の表面



茨城県虎塚古墳の石室模型

に立体的に表現された縄文時代の造形と、土器や銅鐸の表面に線で表現された弥生時代の絵画資料を展示して、装飾古墳に描かれた絵との相違をあきらかにします。

- (4) 古墳時代の造形と絵画 古墳壁画以外の古墳時代の造形、絵画を展示します。弥生時代からの伝統を継ぐ線描きの絵が描かれた埴輪や、独創的なデザインの銅鏡、また大陸から伝わった騎馬の風習を描いた須恵器など新旧の文化の混ざった古墳時代の一面を紹介しします。



熊本県釜尾古墳の壁画（現状図）日下八光氏模写



熊本県釜尾古墳の壁画（復元図）日下八光氏模写

Facata



絵画銅鐸（兵庫県桜ヶ丘遺跡出土）

(8) 装飾古墳に描かれたもの 壁画には直弧文や三角文等の幾何学文様や具体的な品物を表現したのがあります。ここでは墓室に描かれた壁画や彫刻と、墳丘の上に立てられた形象埴輪とを比較対照することによって、壁画に描かれた品物の立体的な姿を明らかにします。



唐の銅鏡（奈良県高松塚古墳出土）

(5) 装飾古墳の成立 中部、北部九州における装飾古墳の成立とその各地への展開を、写真パネル等の構成で明らかにしていきます。

(6) 石人・石馬の世界—九州の装飾古墳— 石人・石馬、すなわち石で作った埴輪は有明海沿岸の古墳にのみ見られるきわめて個性的な文化です。またこの地域は装飾古墳を生み出したところでもあります。岩戸山古墳の石人・石馬や熊本県各地の装飾古墳の資料を展示し、その特殊性を明らかにします。

(7) 装飾古墳の地域性—九州以外の装飾古墳— 九州以外では山陰の鳥取県地方、関東から東北地方南部にかけての太平洋側に多く見られます。これらの古墳の装飾文様には九州と共通するものと、その地方独特のものが見られます。地域の独自性を持ちながらも、共通する死に対する考え方、葬送儀礼が、同じような装飾古墳を生み出したのでしょう。ここではこれら九州以外の装飾古墳を紹介します。



石人（福岡県岩戸山古墳出土）

(9) 新しい壁画古墳—高松塚の世界— 日本の古墳は7世紀後半ではほぼ終末を迎え、それ以降天皇家とごく少数の貴族が小規模の古墳を営みました。中国唐を手本に新国家建設をめざした支配者たちは、唐の貴族にならって墓を色彩壁画で飾りました。飛鳥高松塚古墳がこの例です。ここでは復元模型、壁画模写、出土遺物で高松塚古墳のすべてを紹介します。

(10) 装飾古墳の源流—東アジアの装飾墓— 日本の装飾古墳は日本列島で成立し、独自の展開をとげたものですが、図像の一部や墓に絵を描くという考えは中国や朝鮮半島に学んだともいわれます。ここでは日本の装飾古墳と最も関係深いといわれている高句麗古墳の壁画と、高松塚古墳との関連が指

摘される唐墓壁画の模写を展示し、当時の日本人の死生観をより鮮明にします。 (池崎譲二)

【主要な展示品】

- 装飾古墳石室模型[熊本県千金甲1号墳、福岡県王塚古墳、同五郎山古墳、茨城県虎塚古墳、奈良県高松塚古墳など]
- 装飾古墳壁画模写《日下八光氏模写》[熊本県釜尾古墳、福岡県王塚古墳、同竹原古墳、同珍敷塚古墳、佐賀県田代太田古墳、福島県清戸迫古墳など]
- 装飾古墳の出土品[福岡県王塚古墳出土品、奈良県高松塚古墳出土品、福島県中田横穴出土品など]
- 装飾古墳以前の絵画関係資料[兵庫県桜ヶ丘遺跡出土銅鐸、愛知県亀塚遺跡出土の人の顔を描いた土器、奈良県佐味田宝塚古墳出土家屋文鏡、同新山古墳出土直弧文鏡など]
- その他[熊本県広浦古墳などの装飾のある石棺材、装飾古墳に描かれたものを表現した形象埴輪、高松塚古墳壁画模写、高句麗古墳の壁画模写、唐代壁画墓の壁画模写など]

会期 平成6年4月8日(金)～5月15日(日)

会場 福岡市博物館特別展示室A・B

入場料 一般 900(700)円 ()内は前売と
 高大生 600(400)円 20名以上の団体の
 小中生 400(300)円 場合

特別講演会

4月9日(土) 国立歴史民俗博物館教授 白石 太郎氏
 4月16日(土) 装飾古墳を守る会 榊 晃弘氏
 福岡大学教授 小田 富士雄氏
 財団法人歴史民俗博物館振興会理事 玉利 勲氏
 4月23日(土) 福岡県教育委員会 石山 勲氏